

JA三重厚生連は、医療・保健・福祉活動を通じて、組合員と地域住民の皆さまが、安心して健やかに暮らせる地域づくりに貢献していきます。

厚生連だより

Letter of JA Mie Koseiren

Vol. 89

2022. 11

【ニラハマ展望台（南伊勢町古和浦）】リアス式海岸の穏やかな古和浦湾が一望でき、美しい夕日スポットとしても有名です。



もくじ

EGUIDE（精神科医療の普及と教育に対する ガイドラインの効果に関する研究）の紹介	2
松阪中央総合病院ドクターカーが患者さんのもとに駆けつけます	3
マンモグラフィ検診施設・画像認定施設を取得しました／ 訪問看護ステーションふるさとのメンバーとなって	4
結石破碎装置を更新しました／売店リニューアルオープン	5
「自分で歩ける足を守る」～フットケア外来開設～	6
三重県の要請に応え、感染管理認定看護師を派遣	7
行事食を紹介します	8

CHECK!



JA三重厚生連の
取り組みを紹介!



EGUIDE(精神科医療の普及と教育に対するガイドラインの効果に関する研究)の紹介

鈴鹿厚生病院 精神科医長 山村 哲史



平成 29 年度より、当院は EGUIDE（精神科医療の普及と教育に対するガイドラインの効果に関する研究）プロジェクトにプロジェクトチームの一員として参加しています。

EGUIDE プロジェクトとは、全国の 270 以上（令和 4 年 8 月現在）の精神科医療施設が参加する「精神科医療の普及と教育に対するガイドラインの効果に関する研究：Effectiveness of GUIDeline for Dissemination and Education in psychiatric treatment」の略称です。EGUIDE プロジェクトは、精神科医に対してガイドラインの教育や講習を実施し、ガイドラインの効果を検証する研究を行なっています。精神科の領域において、治療ガイドラインの効果を検証した研究はこれまでになく、新しい試みとなります。今後、EGUIDE プロジェクトにより、精神科医に対するガイドラインを用いた教育を通して、より適切な精神科治療が広く行われることが期待されています。

当院では研究の一環として、平成 29 年度より精神科救急病棟の入院患者さんを対象とした向精神薬に関する処方調査を毎年実施しています。統合失調症やうつ病と診断された入院患者さんの処方内容を集計し、評価項目に沿ってフィードバックを受けています。評価項目としては、「統合失調症患者における抗精神病薬（精神疾患の治療薬）の単剤治療率」や「うつ病患者における抗うつ薬や睡眠薬の処方されていない割合」など、主にガイドラインで推奨されている内容が選ばれています。評価項目がどれくらいの割合で実施できているかフィードバックを受けることが、今年度の治療について検証する機会となり、その成果を来年度以降の治療へ繋げていきます。

令和 3 年度は、うつ病ガイドラインを用いた評価項目に関して大幅な向上が認められたため、当院における取り組みが評価され、病院として表彰を受けました。これまでの地道な取り組みとその結果が評価されたことは、これからも研究への参加を続けていく上で大きな励みとなりました。今後も、当院は EGUIDE プロジェクトチームの一員として、処方調査を着実に続け、治療を検証した上で、患者さんへよりよい医療が提供できるように取り組んでいきます。



松阪中央総合病院ドクターカーが患者さんのもとに駆けつけます

松阪中央総合病院 院長補佐 星野 有

松阪中央総合病院は、令和4年8月よりドクターカーの運用を開始し、地域住民の方々の救命率向上および後遺症軽減を目標とし、これまで以上に救急医療へ積極的に取り組み、地域の皆様に信頼される病院を目指します。

ドクターヘリには離発着場所の制限があり、悪天候に運行が左右されます。よって、当院はより機動力があるドクターカーを運用することにより、地域の皆様の救命率の向上、後遺症の軽減化に貢献できると考えております。

ドクターカーとは、救急現場において搬送より現場での医師による処置が優先されると判断された際に、救急隊からの出動要請に応じ、医師・看護師などの医療スタッフと必要な医療器材を搭載して現場に急行する緊急自動車です。これまで当地区においても病院前救急診療は、国の救急救命士制度を基に消防の救急隊員が中心となって行われ、特定の病態に対する処置は薬剤投与も行われてきました。しかし、あらゆる重篤な疾病や重症外傷に対しては、救急隊員には処置や薬剤使用に制限があるため、救急現場でもそのような制限

当院と松阪地区広域消防組合とはドクターカー要請基準を設けており、消防指令室、出動した救急隊員が、ドクターカーが必要と判断する状況つまり、重症外傷、重篤な心臓疾患、重篤な脳疾患、心肺停止症例などが出動の対象となります。当院のドクターカーは、乗用車型の車両で傷病者搬送機能はありませんので、現場からは消防の救急車に搬送を依頼することになり、救急車で適切な医療機関へ搬送します。運用開始当初の活動エリアは当院からおよそ5km圏内から運用時間は平日の午前9時から午後3時までです。

がない医師が発症早期に直接治療を行うことにより病態悪化を防止できる可能性が高まります。三重県は既にドクターヘリを運用していますが、

なお、一般の方からの要請は受け付けておりません。ドクターカーの円滑な運営に皆様のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。



マンモグラフィ検診施設・
画像認定施設を取得しました
三重北医療センターいなべ総合病院 診療放射線技師 橋本 麻希

このたび、日本乳がん検診精度管理中央機構によりマンモグラフィ検診施設・画像認定施設に認定されました。当院は令和2年9月にマンモグラフィ装置 PeruLapUs を導入し、従来の装置と比較して被曝線量が少なくなり、また病変の検出率が上がるなどこれまで以上に有効な画像診断が行えるようになりました。これに伴いマンモグラフィ検診施設・画像認定施設の取得を目指してきました。

マンモグラフィ検診施設・画像認定施設とは日本乳がん検診精度管理



中央機構が、装置や実際に撮影した写真、X線量等細部にわたり厳しく評価し、すべての審査をクリアしたのち高精度の検診を提供できると認められた施設にのみ与えられるものです。

高画質と読影精度の向上が精度の高いマンモグラフィ検診を実現し、その結果として乳がんによる死亡率の減少が期待できるものと思われれます。今後も精度の高いマンモグラフィ検診の実現に向け、皆様のお役に立てるよう精進していきたいと思えます。

訪問看護ステーション
ふるさとのメンバーとなって
大台厚生病院 看護師 安藤 明日香

看護師として働く中で、私にはいつからか「その人らしく生きる手助けがしたい」と思いつ持ちは生まれ、将来訪問看護の分野を勉強し経験したいと思っていました。

今回、上司より訪問看護への異動を提案され、思い切ってやりたかった訪問看護の道へ足を踏み入れました。

始めは先輩に同行し利用者さんのお宅へ訪問したのですが、お宅へ伺うというのは病棟経験しかない私にとって初めての体験で、そこには病棟で関わったことのある患者さんみえ、入院中とは違う不安を抱え苦労しながらも、いきいきと暮らしている姿がありました。

先輩看護師はそんな利用者さんや介護をされている家族の方に寄り添い傾聴し、医療物資も限られた中で、その人にとって今必要な看護を行っていました。ステーションに帰ってから、看護師同士で訪問した方の問題を話し合い、改善策を考え次回の看護へつなげている姿を見て感動しました。その人や家族の生活を見て（見て）いるからこそ、そこに個別性のある看護が行えるのだと感じました。

病棟でも自分の看護観に基づき看護をしてきたつもりでしたが、その人だけを見ており患者さんの背景を把握しないまま看護を行い、退院してからのことは考えていなかったように思います。

高齢化が進む中、退院後の生活は不安や負担が多く、地域と連携し関わる訪問看護は重要になってきています。私も先輩方のような利用者さん、家族の方に寄り添い、どうすればその人がよりよい生活を営んでいけるのか、どうすればその人らしく悔いのない最期を迎えられるか考え、個別性のある看護をしていきたいと思えます。

訪問看護師として、利用者さん・家族の方が安心して、キラキラとした笑顔で生活できるように、そして悔いなく在宅で最期を迎えられるよう「最期までその人らしく生きる」を目標にケアしていきたいと思っております。



結石破碎装置を更新しました

三重北医療センター 菟野厚生病院 副院長 最上 徹

平成19年7月に当院へ設置された体外衝撃波結石破碎装置も設置後15年の年月が経過し、この度最新機種に更新されましたので紹介します。

今回設置された機種はドイツ Dornie 社製 DELTA III PRO という最新機種です。

これまでの Dornie 社製 S II と比べ、改良点としては

① 治療時の皮膚面から破碎焦点までの距離の最大深度が15cmから17cmに延長された。

皮下脂肪層が分厚い方、また筋骨隆々で分厚い腸腰筋上の尿管結石までの距離が15cmを超える方は衝撃波があと1cm届かないことがあり、この2cmの差は大きいわ。

② 破碎装置が背側からの治療のみならず腹側からも回転移動できるようになった。

骨盤内の中部尿管結石に対し腹臥位で行わなければならなかった破碎治療が仰臥位のまま可能になりました。

③ 治療中の皮膚面に接触するカップリングの内面にビデオカメラが内蔵された。

皮膚と衝撃波カップリングの隙間に発生する気泡を常時モニタリングすることが出来ます。

④ X線透視装置がフラットパネルディレクター化された。

結石の輪郭強調ソフトも搭載され非常に良好な結石照準定位に役立ちます。

以上の長所を活用して今後もより良い尿路結石破碎を行っていきます。



売店リニューアルオープン

南島メディカルセンター 総務課長兼医事課長 吉田 英記

このたび当センターの売店は、令和4年8月に業者を㈱ハシモトに替えてリニューアルオープンしました。これまで平成24年3月の新築移転以降、約10年間に渡りJA伊勢にて運営されて

きましたが、諸事情により令和4年7月末をもって撤退となりました。JA伊勢には、同じJAグループとして患者さんや地域の方々への利便性を図る観点から長きに渡り多大なご協力を賜り深く感謝申し上げます。また、今回無事に売店リニューアルオープンができたのも、㈱ハシモトはじめ関係者の皆様方のご支援ご協力のおかげと感謝しております。重ねて深く御礼申し上げます。

さて、当センターの売店は、これまで限られたスペースで品揃えこそ少ないもののお弁当やパン、お菓子、ジュース、また衛生用品や介護用品を患者さんや来院される方に提供してまいりました。スーパーや薬局等の小売店が少ない地域柄のためか、売店での買い物を楽しみに来院される方も多くいらっしゃいます。

しやいます。リニューアルオープン後も、引き続き地域の皆様のお役に立てるよう努めてまいります。当センターにお越しの際は、是非、売店にもお立ち寄りください。

※売店リニューアルオープンに伴い、利便性を向上させるため、CSセツト(有料)の導入もしております。



「自分で歩ける足を守る」 〜フットケア外来開設〜

今年2月に患者さんの足を守ることを目的として、循環器内科医師、糖尿病療養指導士を中心にフットケア外来を開設しました。フットケア外来では様々な理由で足にトラブルが起こる足病変に対し、専門の研修を受けた看護師が担当させていただきます。

足病変とは、糖尿病による神経障害や動脈硬化による血流障害などの合併症が起こることにより、足の潰瘍や壊死が発生する症状のことをいい、早期にケアすることでよい状態を保つことが可能となります。足病変のハイリスクな患者さんに対し、なぜ気を付けなくてはいけないのか、具体的にどのように気を付けたらよいか、医師の指示のもと実際に患者さんの足の状態を見させていただき、足浴・爪切りなどのケアをしながら、患者さんや家族の方にアドバイスを行っていきます。

医師・看護師、リハビリスタッフが、月一回チーム会をし、適切な医療の提供をできるように努めています。ご希望の方は、主治医までお尋ねください。

完全予約制

第2・第4火曜日 9時〜11時まで

(新規の人は1時間枠)



鈴鹿中央総合病院 看護師主任 林悦子

三重県の要請に応え、感染管理認定看護師を派遣

三重県厚生連
総務研修責任者 教来石信彦

新型コロナウイルス感染症が全国的に急拡大しているなか、JA三重厚生連では、令和4年8月から県の対策本部へ、感染症の専門家として感染管理認定看護師を派遣しました。

令和4年6月下旬以降、高齢者施設や医療機関においてクラスター(疑い)事例の発生が増加し、三重県の感染制御チームに対する派遣要請が増加していました。

県では三重大学と三重県看護協会に所属する専門家(医師・看護師)と県職員による感染制御チームで対応し、派遣要請が複数となった場合は、本会をはじめとする県内協力医療機関の専門家と、県職員による臨時感染制御チームを結成し対応していました。

7月に入って感染が急拡大し、高齢者施設の職員が複数感染したことによる、看護師や介護職員不足による業務継続のための支援依頼も発生し、県の対策本部では、これらの派遣要請の増加に備えた体制強化を図る必要に迫られていました。

このような状況下において、県から本会へ感染管理認定看護師の派遣要請があり、毎週月曜日(祝日も含む)に県庁の対策本部へ派遣することを決定しました。

対策本部への派遣は、本会の松阪中央総合病院、鈴鹿中央総合病院、三重北医療センター・孤野厚生病院、三重北医療センターいなべ総合病院および鈴鹿厚生病院で勤務している感染管理認定看護師が交代で担当します。

対策本部では、感染制御チームの一員として県庁内に常駐し、高齢者施設からの相談を受けるほか、クラスター発生時には、現地調査や感染対策に関する指導、専門的なアドバイスをを行うなど、県職員と連携して支援にあたります。

派遣される奥山 香 感染管理認定看護師は、「介護施設や福祉施設の方々は、感染対策への知識も物品も不足しているなか、利用者さんや自分達を守るため、色々な工夫をされてコロナウイルスの感染伝播と戦っておられます。

私達が、その恐怖や重圧を少しでも軽減できるようなお手伝いができればと考えています。自分が発する言葉や指導、相談への対応が、その施設の状況を良くも悪くもしてしまうという重責を心に刻んで臨みたいと思っています。」と決意を述べました。



ガウンテクニックの指導



感染カンファレンス



相談対応

行事食を紹介します

三重北医療センター 菰野厚生病院 管理栄養士 仕田原由里

8月4日の土用の丑の日に提供した行事食をご紹介します。

1年に何回か土用の丑の日が訪れますが、最近では土用の丑の日といえば夏というイメージではないでしょうか？

昔から体調を崩しやすい夏にはウナギを食べて栄養をたっぷり摂ろうという考えがありました。

ウナギにはビタミンAやビタミンB群など、疲労回復や食欲増進に効果的な成分が多く含まれているので、夏だけでなく、年中おいしくいただきたい食材と言えますね。



栄養量 (1食1人分)
 エネルギー量…650 kcal
 たんぱく質…21g
 塩分…3.0g

鰻ちらし寿司

【材料】(1人分)

- ごはん…180g
- 人参…15g
- れんこん…20g
- 寿司酢
- 酢…13g
- 砂糖…4g
- 塩…少々
- 胡瓜…10g
- 錦糸卵…15g
- 鰻蒲焼…1/4尾
- きざみのり…少々

作り方

- ① 人参、れんこんはみじん切りにして、茹でておく。
- ② 寿司酢を合わせ、沸騰させないように砂糖と塩を溶かし、下茹でした人参とれんこんを加える。
- ③ ご飯が炊き上がった後、②を全体に回しかけ、切るように混ぜる。
- ④ ③を器に盛り、千切りにした胡瓜と錦糸卵、鰻の蒲焼を彩りよく並べ、きざみのりを飾る。

茄子の煮物

【材料】(1人分)

- 茄子…70g
- 人参…15g
- だし汁…適量
- 醤油…3g
- 砂糖…1.5g

作り方

- ① 人参は乱切りにして、茹でておく。
- ② 茄子は乱切りにして、だし汁、調味料で煮込み、下茹でした人参を加える。

吸物

【材料】(1人分)

- 大根…30g
- 人参…5g
- 三つ葉…少々
- だし汁…適量
- 酒…2g
- 薄口醤油…1g
- 塩…0.5g

作り方

- ① 大根は銀杏切り、人参は千切りにする。
- ② 鍋にだし汁を熱し、材料をやわらかく煮る。
- ③ 調味料で味を整え、最後に三つ葉を入れる。

水羊羹 市販のもの1個

JA三重厚生連

人に 地域に やさしい看護

薬剤師 看護師 介護福祉士 看護補助員 募集



厚生連だより Vol.89

2022.11 発行

発行／三重県津市栄町1丁目960番地

三重県厚生農業協同組合連合会

TEL 059-229-9191 FAX 059-224-4354

http://www.miekosei.or.jp/ E-mail:info@miekosei.or.jp